

13 . シンボル彫刻像 (入江運動公園プロムナード内 14点)

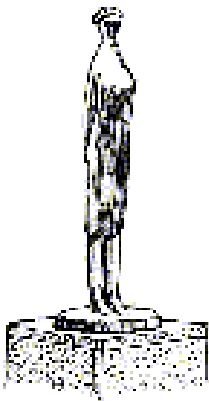
「室蘭にシンボルを創る市民の会」が、市民一人一人の夢と希望を託して、道内の著名な彫刻家14人に1点ずつ、室蘭の「過去・現在・未来」をイメージして制作していただいた14点のシンボル彫刻像を入江運動公園内に設置しました。

平成元年(1989)8月に完成したこれらの彫刻像は、市民をはじめ道内外のたくさんの方々の寄付によって制作されました。これだけ多くの作品が一堂に設置されているのは、道内でも珍しく、芸術の薫り豊かな「シンボル彫刻像プロムナード」は、マチのシンボルとして、多くの市民に親しまれています。

・拓(たく) 開き、広げる 佐藤範夫 作(旭川市)

若い女性の立像。大地を力強く踏みしめ、遠く太平洋を見つめ、荒波に向かって立つ。内に秘めた女性のたくましさ、優しさ、厳しい自然に耐えた北海道の女性。

ブロンズ製、高さ 1.7m、幅 1.2m



・萌(ほう) めばえ、誕生 斎藤一明 作(釧路市)

いま萌え出る室蘭の若さと、みずみずしさを表出するため、動きをセーブした飾らぬ立像の中にその思いを込めた。

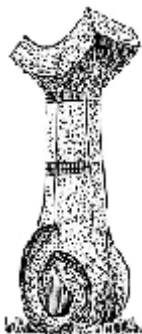
ブロンズ製、高さ 1.5m、幅 0.6m



・遣(しょう) しょう遙する 熊谷紀子 作(伊達市)

人々が公園を散策中に、ふっと立ち止まると心安らぐ作品にぶつかるようにとの意図で制作。若い女性の姿を借り、ゆったりとした優しさの中に力強さを表現。

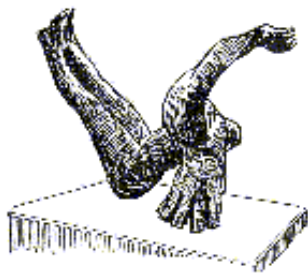
ブロンズ製、高さ 2.3m、幅 1.0m



・連(れん) つらなり結ぶ 丸山 隆 作(札幌市)

鉄のイオンが漂う、鼓動する町は生物のよう。その生物の神経、その連なりを形にした。ニューロンとシナプスは、工学的構造のスパナやレンチなどの工具と酷似している。また、汽車の動輪を動かすロッドと重なってゆき、その構造を力強くシンプルに造形。

御影石製、高さ 3.7m、幅 1.2m



・燦(さん) 照り輝く 二部 黎 作(小樽市)

あらゆる存在は、愛によって結ばれている。私もまた宇宙の子どもだから、空と海と山と命をつなく、そのためにのみ創る。一つの物は命に育ち、一つの命は、存在の領域に踏み入って永遠に旅し続ける。

ブロンズ製、高さ 1.6m、幅 1.8m

・焰(えん) 力強く燃える 板津邦夫 作(旭川市)

力強く燃える炎を、そして室蘭の活性化をイメージ。太平洋より室蘭港を吹き抜ける風を受け止めるようイメージして制作。

ブロンズ製、高さ 1.4m、幅 1.4m



・溶(よう) 熱せられ、溶け合う 高橋昭一 作(札幌市)

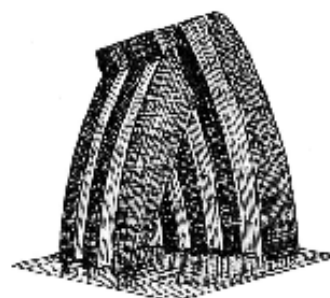
人間は一人で居るから孤独であるといえない。二人でいても孤独は孤独。だが、一人よりも二人の孤独が結び合った時、そこに何か生まれる。二人という人物を結び立てたい気持ちに誘われた。

コルテン鋼製、高さ 1.7m、幅 0.6m

・沃(よく) 若く、みずみずしい 中江紀洋 作(釧路市)

大地プラス開拓のツチ音のイメージから、地中のエネルギーの放出(自然)と地上のエネルギー(人間)との闘い、共存、開拓のイメージを具現化。

コルテン鋼製、高さ 3m、幅 3m



・翔(しょう) 未来への羽ばたき 本田明二 作(札幌市)

室蘭市の未来への躍進を表現。母に抱かれる子は、大地にしっかりと根をおろし、未来を育てていく。4月に初めて室蘭を訪れ、とても美しい海岸線に驚かされた。

ブロンズ製、高さ 1.2m、幅 0.5m

・黎(れい) れい明、夜明け 米坂ヒデノリ 作(夕張郡栗山町)

作品のコルテン鋼部分は、万里の波涛^{はとう}を象徴。ブロンズ像部分は、室蘭に生きる人々が未来に向かって旅立つ姿を象徴している。

ブロンズとコルテン鋼製、高さ 3.7m、幅 1.3m



・浪(ろう) うねりを越えて進む 小石 巧 作(江別市)

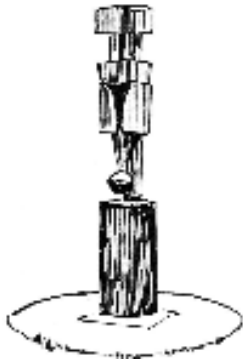
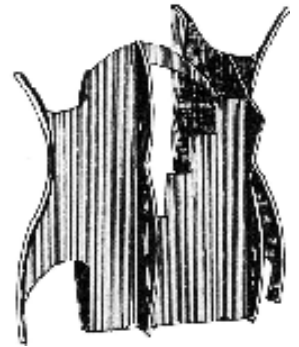
遠く海を見つめるという感覚は、同時にはらかな未来、遠い将来を見つめることにも通じる。手を現したのは、人間そのものの気持ちの表現。室蘭の自然の雄大さに負けない、力強い作品をと制作。

ブロンズ製、高さ 2.8m、幅 0.6m

・煌(こう) ひかり、輝く 国松明日香 作(札幌市)

豊かな自然に囲まれた近代工業都市「室蘭」のイメージを反映。像の階段部分は都市の躍進、周りの曲線を炎のように燃え上がるイメージにしたが、それを息づく人間とみてもいい。

コルテン鋼製、高さ 3.5m、幅 3.0m



・歓(かん) 新生への歓喜 砂澤ビッキ 作(中川郡音威子府村)

鉄のまち室蘭。その練り上げられた鉄の中に木の枝が出たり、葉が繁り、花が咲く。鉄の中に樹を求めるもの。室蘭と海と空というものを意識。

アルミ合金製、高さ 2.7m、幅 1.0m

・煥(かん) 四方に、光り輝く 高橋昭五郎 作(室蘭市)

港室蘭(鉄の町) - 敗戦 - 復興と経過してきたが、その時々未来を見据えた上での現在感を生かさねばならない。室蘭という狭い範囲にとどまらない世界、無限の広がり輝きを込めた。

コルテン鋼製、高さ 1.3m、幅 5.2 m

